

(別記様式3)

令和元年10月18日
生涯学習課
内線 4669指定管理者による公の施設(群馬県青少年会館)の管理運営状況
(平成30年度分)について

| | | | |
|--------|--|------|-------------------|
| 施設名 | 群馬県青少年会館 | 所管課 | 教育委員会生涯学習課 |
| 指定管理者名 | 公益財団法人 群馬県青少年育成事業団 | 指定期間 | 3年 |
| 利用料金制 | <input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし | | H29.4.1 ~ R2.3.31 |

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 施設所在地 | 前橋市荒牧町2番地12 |
| 指定管理業務内容 | ・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施 |

2 職員の状況(30年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

| | | | |
|---------------|--------------|-----|---------------|
| 通常(フルタイム)の職員: | 10人(うち障害者 人) | | |
| 短時間雇用の職員: | 0人(うち障害者 人) | 合計: | 10人(うち障害者 0人) |

※公表時には、(うち障害者 人)を削除します

3 収支の状況(30年度決算額)

(円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 指定管理料 | 65,824,920 | 人件費 | 56,665,283 |
| 利用料収入 | 11,502,250 | 委託料 | 4,378,075 |
| 事業参加者負担金収入 | 288,600 | 光熱水費 | 7,649,175 |
| 自主事業収入 | 2,333,264 | 租税公課費 | 4,192,892 |
| | | その他(管理運営費等) | 6,006,210 |
| | | 自主事業支出 | 2,333,264 |
| 収入合計 | 79,949,034 | 支出合計 | 81,224,899 |

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

| | 30年度(末実績) | (参考)29年度(実績) | (参考)28年度(実績) |
|-------------------------|------------|--------------|--------------|
| ①年間利用者数(人) | 48,053 | 46,401 | 47,631 |
| ②使用料収入(円) (県納付額) | — | — | — |
| ③利用料収入(円) (指定管理者収受額) | 11,502,250 | 11,814,835 | 11,952,470 |

5 施設における実施事業の状況

| 事業・イベント名 | 開催日 | 参加者数 | 内容 | 参加者の感想等 |
|------------|-------------|--------------------|---|--|
| 青少年指導者専門講座 | 2月9日 10日 | 延べ36名 (募集定員30名) | ・学校週5日制の実施や少子化による年少人口の減少等の状況の中で、地域における青少年活動の活性化を図るため、地域の青少年活動や青少年団体活動に情熱を持ち、今後の活動が期待される指導者に対し、より専門的な知識・技能等を習得するための講座を実施し、地域活動指導者の資質の向上に寄与する。 ・【主な内容】 「子どもの個性に寄り添う指導法」 | ・子どもの気質を分類して、それぞれに合ったコーチングをすることの有効性についてとても参考になった。 ・ここで学んだことを他の人にも伝えていき、潤いのある地域にしていきたい。 ・講義の内容が頭に入りやすく、無駄なことが一つもないと感じた。 ・活動中における子ども達との接し方のみならず、家庭でも活用できる内容で有意義だった。 ・リーダーシップとは何か、指導者とは何かを自分なりに再確認できた。目的を明確に、またそれを伝え共有することが重要であると感じた。 |

| | | | | |
|---------------------|--|--|---|--|
| ふれあい・ゆうあい 交流フェスタ | 実行委員会 6月13日 8月22日 9月26日 10月31日 事前研修 10月14日 当日 10月15日 | 延べ1,127名 (ボランティアス タッフ含む) | ・心のバリアフリーと温かな社会の実 現を目指し、関係者がともにふれあ い、活動する楽しさを体験すると共に ボランティア活動を実践する。 【主な内容】 ・参加団体によるステージ発表やパ ネル展示 ・中学生以上のボランティアによる介 助や体験コーナー・バザー・模擬店 等 | ・初めての参加で不安だったが、知ら ない人と活動することも楽しかった。 参加者のみなさんと親しくなれたの がうれしい。 実際参加してみると思い通りに動け なかった。運営側の大変さを感じた。 ・学校の授業や部活などで事前研修 の欠席者が多い。当日参加だけでも 本当にありがたいことだけれども、ボ ランティア活動をもっと学校側に理解 してもらうことはできないだろうか。ま た、生徒たちのボランティア活動が学 校でどのくらい評価されているか興 味がある。 |
| 親子ふれあい会館 ロッジ | I 7月21日 ～22日 II 10月27日 ～28日 | I 33名 (募集定員 15組30名) II 34名 (募集定員 15組30名) | 青少年会館に宿泊し、時間をかけた 共同・協力作業を行うことにより、親 子のふれあいや参加者同士の交流 を深め、新たな人間関係の構築を図 る。 【主な内容】 ・木工教室(I) ・竹細工、陶芸教室(II) ・IとII共通でレクリエーション | ・子どもととても楽しみにしてい たので、参加できて本当によ かった。子どものサポートをする つもりだったが、いつの間にか夢 中になって、いちばん楽しんでい たのは父親自身だったような 気がする。 ・人見知りの娘もレクリエーシ ョンを楽しんでいる姿を見て、少し 大人になったようです。 |
| 国際交流推進事業 | 12月1日 ～2日 | 24名 (募集定員20 名) | 本事業のプログラムを通して、他国 文化の魅力や違いを感じ取ると共 に、自国を見つめ直す機会を提供す る。また、青少年会館に宿泊し、時間 をかけた活動を行うことにより、外国 人講師とのふれあいや参加者同士の 交流を深め、コミュニケーション力 を高める。 【主な内容】 ・ヨーロッパの文化に親しむ ・アジアの文化に親しむ | ・いろいろな国の文化や様子などを 知ることができてとても勉強になっ た。この活動をして、すごく成長でき た気がする。 ・今回のキャンプを通して、世界の文 化について知ることができて良かった。 特に、インドネシアの伝統的な ゲームは新鮮で、とても楽しかった。 ・いろいろな国の遊びや文化を学べ て楽しかった。また、友だちと仲良 くなるレクもとても楽しかった。 |
| | 通年 | | 青少年会館を拠点として活動する群 青連協加盟団体の充実を図るため、 担当職員を配置して支援・連携を図 るとともに、加盟団体のメンバーを当 事業団主催事業の講師や補助指導 者として積極的に活用する。 【活動内容】 ・群青連協事業運営委員会の出席 ・ボーイスカウト主催事業への係員 協力 ・群馬青友会活動展の会場提供 ・県青連上毛カルタ大会係員協力 | ・職員の助言により青少年会館を有 効に使うことができた。(団体関係 者) ・会場の庶務を担当してもらったの で、事業の作業効率がアップした(団 体関係者) |
| 青少年団体活動支 援事業 | 8月5日 (夏休み宿題 お助け隊) 1月13日 (親子餅つき 体験) | 宿題お助け隊 小学生70名、保 護者・スタッフ84 名 親子もちつき体 験 親子56名 (募集定員50名 程度) | 青少年の健全育成活動を行っている 団体と協力し、体験活動を通して子 ども達の創造力や社会性を育むと ともに、親子での協働作業や共通体験 により、親子の「きずな」を深める。 【主な活動】 ・青少年団体、関係団体との連携強 化を図る。 ・団体と連携して子どもの夏休みの 宿題を支援することで、子どもの社 会性を育てる。 ・親子一緒にもちつき体験を通して、 親子の絆を深める。 | ○夏休み宿題お助け隊 ・子どもからは、「友だちが2人できた し、ポスターも進んで描けました。」 「苦手な読書感想文が書けてよかつ た。」など ・保護者からは、「家ではなかなか進 みませんが、周りの友だちに影響さ れ、スタッフにも指導していただい て、自分から進んでできたよう です。」「集中して楽しく取り組めたの でよかった」など ○親子餅つき体験 ・子どもからは、「初めて臼と杵で餅 つきをして楽しかったです。試食でお 餅になる前のものを食べましたが、 「これがお餅になるんだ。」と思いま した。」など ・保護者からは、「餅米の蒸かし方か らこね方、つくまでの一連の流れをど てもわかりやすく説明していただきま した。貴重な体験でした。お茶を入れ てくださった寿楽園の皆様、ありがと うございました。」など |

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

①施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体代表者へアンケート調査(530通)を実施した。

(項目別回答集計)

・総合的な満足度

満足68% まあ満足21% 普通9% やや不満0% 不満0% わからない0% 未回答2%

・施設の運営(職員対応、料金設定、利用時間の設定)

大変良い71% 良い17% 普通9% やや悪い0% 悪い1% 未回答2%

・施設の設備(照明の明るさ、清潔度、使いやすさ、案内表示のわかりやすさ、安全性)

大変良い69% 良い19% 普通12% やや悪い0% 悪い0% 未回答0%

(利用者からの意見等)

満足できたという意見、施設(ハード、運営)に対する要望等が寄せられた。

(調査結果分析)

アンケートの結果を基に、利用しやすい設備、接遇等について分析を行っている。

(調査結果への対応状況)

アンケートの結果を基に、利用しやすい設備、接遇等の改善を行っている。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

対応可能なものについては、迅速に対応した。

②青少年健全育成事業

(実施期間)

事業実施毎に行った。

(実施方法・回収率等)

事業参加者全員にアンケート調査を実施した。

(項目別回答集計)

各事業毎に、内容・満足度・実施時期等についての設問をして集計し、結果分析を行っている。

(利用者からの意見等)

全ての事業で概ね好評であった。

(調査結果分析)

アンケートの実施結果を基に事業実施の内容について精査し、分析を行っている。

(調査結果への対応状況)

課題解決に向けて改善案を検討し、改善に努めている。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。